

教育支援部だより

大分県立聾学校
教育支援部 第2号
令和2年6月5日発行

学校が再開して、1カ月が過ぎようとしています。こまめな手洗い、3密（密集、密接、密閉）を避ける。咳エチケットの徹底（外出時のマスク着用）など新しい生活様式には、慣れましたか？ 飛沫感染防止に欠かせないマスク。みなさんは、「聴覚に障がいがある人にとっては、口の形、表情が隠れてしまいコミュニケーションの壁となっている」と新聞やテレビのニュースで取り上げられているのを見たことはありませんか。

「私は、手話よりも口や表情に頼ることが多く、コロナウイルスでほとんどの人がマスクしている今、聞こえる人だけでなく、聞こえない同士の会話でも手話を読み取るのに必死です」(事務室 芦刈先生)

手話、筆談などコミュニケーション手段は、いろいろありますが、口の動き、表情はコミュニケーションをする上で欠かせない大切なものです。4月から始まった『透明マスクプロジェクト』高等部の河津知子先生が多くの試作品を製作されています。今号では、『表情が見える！フェイスシールド』の作り方を紹介します。

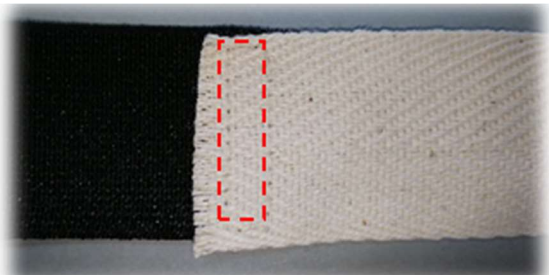
【用意するもの】



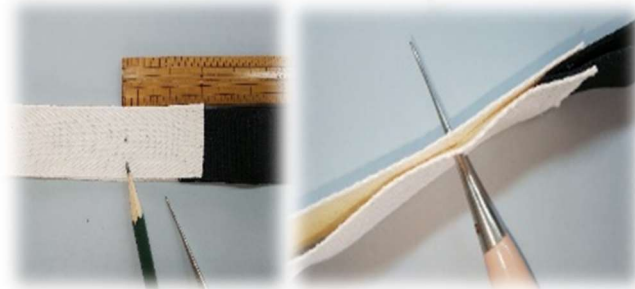
- ゴム 幅3cm 長さ30cm 1本
- アクリル紐 幅3cm 長さ30cm 1本
- OHPフィルム1枚
- 丸シール 2枚
- ワンタッチプラスナップ(4個ヘッド・バネ)
- えんぴつ ・目打ち ・ものさし
- ミシン(手縫い糸)

【作り方】

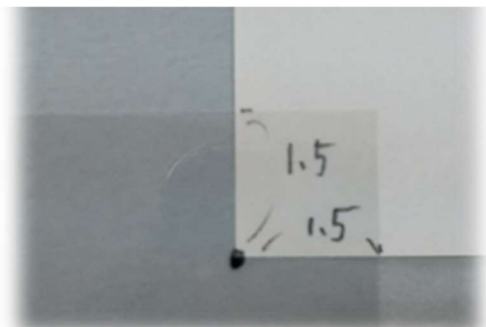
- ① ゴムとアクリル紐を1cmずつ重ねてミシンで縫う。
※四角でも縦でも可。手縫いでもOK



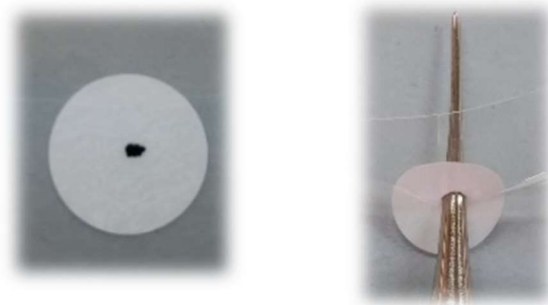
- ② アクリル紐端から4cmの位置に印をつけて目打ちで開ける。



- ③ 次は、OHPフィルムに1.5cmの位置に印をつける。



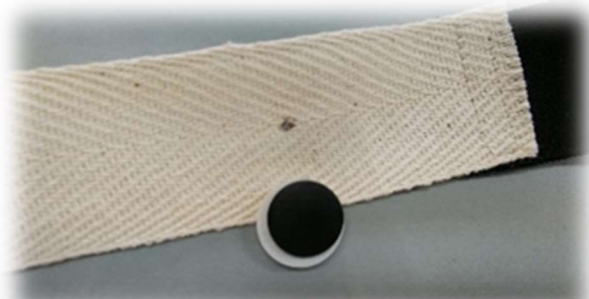
- ④ ⑤につけた印に丸シールを貼って目打ちで穴を開ける。



⑤ 穴にスナップのヘッドの先端を差し込む。
(左右同様)



⑥ 次は、②の亚克力紐の穴に差し込む。
(左右同様)



⑦ 裏に差し込んだ先端にスナップのバネを
セットし、はめ込む。(左右同様)

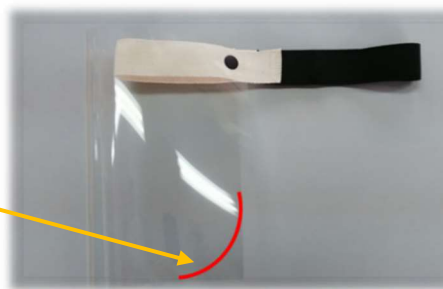


⑧ 出来上がり



その他

- ※ 必要に応じて フィルムの下に
「カーブ」カットしてもよい ※
- ※ 曇る場合、曇り止めシートを
使用するなど工夫してください。



透明マスクをつくったらどうかと言われて、
『透明マスクプロジェクト』始動。
ラミネートフィルムやラッピングペーパーなどを使っ
てみたり、ネットで調べて参考にしたり・・・
試行錯誤を繰り返しました。
「誰でも使える」「負担がない」「すぐ作れる」を考え
て、作りました。

苦労した点は、「曇る」「光の反射」でした。
課題が残っていますので『透明マスクプロジェクト』
まだまだ続きます！ (高等部 河津先生)



これまでに製作された透明マスク

布マスクの時は、話が分かり
づらかったけど、
フェイスシールドは、口形が
見えて分かりやすくなりました。
(中学部 I さん、T さん)



口元をよく見ているの
が分かります。
このフェイスシールド
は、軽くて、つけやすい
です。息苦しさも減り、
熱中症予防にもなります。

